

## 平成 20 年度事業報告

## I. 事業の概要

## 1. 研究発表会（定款第 5 条 1 号）

(1) 3月 25 日、26 日の両日、京都情報大学院大学において、第 103 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「研究開発の OR」

・特別講演（一般公開）

1) 情報通信サービスの進化とそれを支える研究開発

平 田 康 夫 (㈱国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長)

2) これからのホームネットワークシステムと住空間デザイン

野 村 淳 二 (松下電工㈱副社長・OR 学会副会長)

・発表件数 108 件

一般発表 98 件

・参加者数 279 名

(2) 9月 10 日、11 日の両日、札幌コンベンションセンターにおいて、第 104 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「観光と OR」

・特別講演（一般公開）

1) DMV とは何もの : DMV の可能性と将来性

難 波 寿 雄 (北海道旅客鉄道㈱DMV 推進センター長)

2) 観光と OR と情報

大 内 東 (北海道大学教授・観光情報学会会長)

・発表件数 143 件

一般発表 129 件

特別セッション 14 件

・参加者数 354 名

## 2. シンポジウム（定款第 5 条 1 号）

(1) 3月 24 日、京都情報大学院大学において、第 59 回シンポジウム「インターネットと OR」を開催した。講演 4 件。参加者は 72 名であった。

(2) 9月 9 日、北海道大学において、第 60 回シンポジウム「サプライチェーン・マネジメントのフロンティア」を開催した。講演 5 件。参加者は 72 名であった。

## 3. 普及活動（定款第 5 条 1 号）

(1) OR セミナー

・第 1 回「最適化とその実用」を 8 月 28 日、㈱構造計画研究所で開催した。参加者 43 名。

題 目	講 師
最適化序論と適用事例	田 村 明 久 (慶應義塾大学)
混合整数計画法とその適用事例	宮 代 隆 平 (東京農工大学)
実務的なスケジューリング問題への適用	田 辺 隆 人 (㈱数理システム)

題 目	講 師
21 世紀のネットワーク最適化	伊 藤 大 雄 (京 都 大 学)
演習で学ぶ最適化	斉 藤 努 (株)構造計画研究所

・第2回「企業改革を支えるサプライチェーン戦略」を2月2日、(株)野村総合研究所丸の内総合センターで開催した。参加者 30 名。

題 目	講 師
トータルマネジメントコンセプトと SCM	橋 本 忠 夫 (多 摩 大 学)
雪印乳業の SCM の取り組み	松本卓夫・大石眞樹 (雪 印 乳 業 (株))
サプライチェーンロジスティクスの取組みと課題	増 森 毅 (パナソニック(株))
戦略的 SCM と企業革新	藤 野 直 明 (株)野村総合研究所
企業改革に SCOR モデルを使うわけ	三 枝 利 彰 (株)日本ビジネスクリエイト

## (2) 企業事例交流会

- ・第 21 回企業事例交流会は、第 103 回研究発表会（京都情報大学院大学）にて 3 月 25 日開催。発表件数 5 件。
- ・第 22 回企業事例交流会は、第 104 回研究発表会（札幌コンベンションセンター）にて 9 月 10 日開催。発表件数 2 件。

## (3) 新宿 OR 研究会

昭和 55 年創設以来、年間 10 回の例会を開催している。テーマは OR 関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

## 4. 刊行物（定款第 5 条 2 号）

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 20 年 3 月 3 日	53	3	3,150 部
平成 20 年 4 月 1 日	53	4	3,150 部
平成 20 年 5 月 1 日	53	5	3,150 部
平成 20 年 6 月 2 日	53	6	3,150 部
平成 20 年 7 月 1 日	53	7	3,150 部
平成 20 年 8 月 1 日	53	8	3,150 部
平成 20 年 9 月 1 日	53	9	3,150 部
平成 20 年 10 月 1 日	53	10	3,150 部
平成 20 年 11 月 4 日	53	11	3,150 部
平成 20 年 12 月 1 日	53	12	3,150 部
平成 20 年 12 月 25 日	54	1	3,000 部

平成 21 年 2 月 2 日      54      2      3,000 部

- (2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan)、和文論文誌 (Transactions of the Operations Research Society of Japan) を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 20 年 3 月 17 日	51	1	2,600 部
平成 20 年 6 月 23 日	51	2	2,600 部
平成 20 年 9 月 22 日	51	3	2,600 部
平成 20 年 12 月 12 日	51	4	2,600 部
平成 20 年 12 月 12 日 (和文論文誌)	51		2,500 部

- (3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

- (4) セミナーテキスト

「最適化とその実用」「企業改革を支えるサプライチェーン戦略」に関するテキストを発行した。

## 5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力 (定款第 5 条 3 号)

- (1) 日本学術会議関連

平成 18 年 8 月から総合工学分野の連携会員として高橋幸雄氏 (東京工業大学) が任命された。なお、FMES 関連では久米均氏 (QC)、圓川隆夫氏 (QC)、向殿政男氏 (信頼性) が連携会員として任命され、主として総合工学委員会、工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会の中で活動している。

- (2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

高橋幸雄氏が FMES の会長 (2006 年から) を務めている。また代表者会議のメンバーとして香田正人氏 (筑波大学) と上田徹氏 (成蹊大学) が参加している。なお、FMES の事務局は平成 17 年 7 月から (社) 日本品質管理学会が務めている。平成 20 年度の FMES の活動は以下の通り、日本学術会議と連携してのシンポジウム開催および JABEE 認定審査であった。

① シンポジウム委員会

平成 20 年度のシンポジウムは平成 20 年 7 月 4 日「安全・安心・リスクと企業経営」をテーマに、日本学術会議講堂において開催された。今年度の幹事学会は日本信頼性学会であった。

② FMES/JABEE 委員会

当学会から運営委員に香田正人氏、上田徹氏が派遣されている。また、審査委員会にも OR 学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野の JABEE 認定審査に協力している。

- (3) 日本技術者教育認定機構 (JABEE)

当学会は 2001 年 2 月に正会員として加入 (会費 1 口 10 万円) するとともに上記 FMES グループとして加入、その幹事会費分 (日本経営工学会、日本品質管理学会と当学会が各 10 万円) を負担している。

なお、JABEE の理事として FMES 会長の高橋幸雄氏を送っている。JABEE は 2009 年 4 月の新法人設立に向けて準備中であり、高橋幸雄氏は FMES を代表して新法人設立時理事となることが予定されている。

- (4) (社) 日本工学会関連

工学系 101 学協会の連合体である (社) 日本工学会の諸活動に協力し、片山隆仁氏 (防衛省) が評議員として派遣されている。また同会事務研究委員会に委員 1 名 (事務局長) が参加している。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合（略称：横幹連合）

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会、FMES メンバーなど 30 学会が参加して、平成 15 年 4 月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として上田徹氏、副会長として鈴木久敏氏（筑波大学）が派遣されている。

6. 他学協会との交流（定款第 5 条 3 号）

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・第 24 回京都賞記念ワークショップ（稲盛財団）
- ・2008 年度春季全国研究発表大会（経営情報学会）
- ・2008 年度秋季全国研究発表大会（経営情報学会）
- ・公開シンポジウム（経営情報学会東海支部）
- ・計測自動制御学会関西支部「平成 20 年度講習会」（計測自動制御学会）
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2008（計測自動制御学会）
- ・第 51 回自動制御連合講演会（計測自動制御学会他）
- ・スケジューリング・シンポジウム 2008（スケジューリング学会）
- ・第 38 回信頼性・保全性シンポジウム（日本科学技術連盟）
- ・第 10 回日本感性工学会年次大会（日本感性工学会）
- ・生産システム部門講演会 2008（日本機械学会）
- ・経営工学 100 年周期記念行事（日本経営工学会）
- ・第 27 回日本シミュレーション学会大会（日本シミュレーション学会）
- ・第 16 回春季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・第 21 回秋季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・創立 20 周年記念大会（日本設備管理学会）
- ・第 24 回ファジィシステムシンポジウム（日本知能情報ファジィ学会）
- ・計測・制御・システム工学部会システムフォーラム（日本鉄鋼協会）
- ・2008 年研究発表大会（日本リアルオプション学会）
- ・教育フォーラム 2008（プロジェクトマネジメント学会）

7. 国際協力（定款第 5 条 3 号）

- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、各国の OR 学会との交流、協力を図った。また IFORS2008（7 月 13~18 日）が南アフリカ共和国ヨハネスブルグで開催され、日本からは 13 名が参加した。
- (2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、アジア・太平洋地域の OR の発展と加盟学会の情報交換に協力した。
- (3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAOR の国内頒布に協力した。
- (4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。
- (5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動（定款第 5 条 4 号）

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財) グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「未来のインフラストラクチャー」研究部会を窓口を実施した。

9. 研究部会・研究グループ（定款第5条4号）

研究部会・研究グループ終了／中間報告

◎印 終了を示す

\*印 研究グループを示す

☆印 常設部会を示す

部 会 名	主 査 事	メンバー	開催	内 容	場 所
☆待ち行列	高 木 英 明 （筑波大学） 加 藤 憲 一 （東京工業大学）	25名	7回	待ち行列及び関連分野の専門家による研究発表会を開催し、最新の成果について意見交換した。学生・初学者向けチュートリアルを開催した。また研究奨励賞を創設し、若手研究者の優れた研究を表彰した。	東京工業大学
☆数理計画 （RAMP）	水 野 眞 治 （東京工業大学） 中 田 和 秀 （東京工業大学）	30名	1回	10月にシンポジウム（セッション：整数計画・離散最適化の進展・連続最適化周辺の最近の発展・実務における数理計画法・数理諸分野と最適化）を開催した。数理計画の理論及び応用の最前線で活躍している14名の研究者に講演して頂き、参加者は171名であった。	東京工業大学
☆統合オペレーション	山 田 郁 夫  中 野 一 夫 （構造計画研究所）	15名	2回	実践的立場から巨大組織が外部招聘したトップをより効率的に活用する為の具体策について議論した。また、企業において価値を生み出すためには、適切な情報構造を確立することが鍵になるという「青い空」概念について討論した。	学 士 会 館
☆評価のOR	森 田 浩 （大阪大学） 関 谷 和 之 （静岡大学）	14名	7回	年4回の定例研究会を開き、毎回数名の講演者を招き、ORでの評価手法、意思決定手法に関する研究発表を行った。この他にもDEAシンポジウムを開催し、海外の研究者による基調講演2件、招待講演5件と一般講演16件を行った。	政策研究大学院大学
☆意思決定法	木 下 栄 蔵 （名城大学） 大 屋 隆 生 （国士舘大学）	26名	3回	AHPを中心とした意思決定法に関する発表により、意思決定手法の理解を深め、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける適用性を高めることができた。	国 士 舘 大 学
◎ORと実践	成 瀬 喜 則 （富山商船高等専門学校） 金 子 宏 之 （小松短期大学）	13名	5回	北陸地区を会場にして、年間5回の研究部会を行った。工学系、経済・経営系、医療系など様々な分野における諸問題をテーマにして、数理的モデルの開発とその応用に関する講演が行われ、有意義な議論がなされた。	石川県文教会館他

部 会 名	主 幹 査 事	メンバ-	開 催	内 容	場 所
◎計算と最適化	村 松 正 和 (電気通信大学) 森 口 聡 子 (産業技術大学院大学)	13名	7回	計算と最適化に関する話題について、年6回の定例研究会と、合宿形式の研究発表会を1回開催した。定例研究会では、毎回2名の講演者を招き、各1時間半の研究発表を行っていただいた。毎回10名以上の参加者があった。合宿形式の研究発表会は筑波大学で開催され、19件の研究発表が行われた	首都大学東京
◎ゲーム理論と経済工学	武 藤 滋 夫 (東京工業大学) 福 田 恵 美 子 (防衛大学校)	50名	11回	本年度は11回研究会を開催し、合計12件の報告があった。理工学、社会科学の各分野、またその複合領域でのゲーム理論の発展性について、幅広い分野からの参加者による有意義な研究交流を行うことができた。	東京工業大学他
◎コンピュータ-ション	加 藤 直 樹 (京都大学) 藤 江 哲 也 (兵庫県立大学)	13名	5回	毎回2~3名の講師を招き、組合せ最適化やアルゴリズムにおける理論あるいはその応用など、広く「計算」に関する研究発表をしていただき、情報交換や議論を行った。	京 都 大 学
◎不確実性環境下での意思決定の理論と応用	菊 田 健 作 (兵庫県立大学) 川 勝 英 史 (流通科学大学)	11名	6回	不確実な要素を含む問題に関連した内容を中心に、信頼性、ゲーム理論、在庫管理、数理計画、情報処理などの分野から報告をして頂いた。活発な議論や質疑応答を通じて研究交流を行い、多くの知見を得ることができた。	流通科学大学他
◎ソフトコンピューティングとOR	片 桐 英 樹 (広島大学) 柴 田 淳 子 (神戸学院大学)	12名	5回	5回の研究会を開催し、ソフトコンピューティング手法とORの融合分野だけでなく、実社会の問題へ適用する際の問題点等についても検討を行った。他学会と共催することで、より広い範囲での議論を行うことができた。	大 阪 ・ 広 島
◎ファイナンスと意思決定	木 島 正 明 (首都大学東京) 田 中 敬 一 (首都大学東京)	12名	7回	7回の研究会で様々なファイナンスの話題に関する進展を報告した。リスク管理、価格付け問題、リアルオプション等に関する研究において、活発な議論により実務家を含めた研究交流を行った。	首都大学東京他
◎不確実環境下での柔構造最適化モデリング	岩 村 覚 三 (城西大学) 安 田 正 實 (千葉大学)	9名	4回	経営科学における柔構造最適化モデルに関連した数理的解析とその計算手法等について、成果発表や国際会議報告、新分野のチュートリアル等、研究交流を行った。	千 葉 大 学

部 会 名	主 査 事	メンバー	開催	内 容	場 所
安全安心学	氏 田 博 士 (エネルギー総合工学研究所) 増 田 浩 通 (千葉工業大学)	20名	3回	本年度は研究部会を計3回開催した。その内容は、高信頼性組織、7σの発生形態と日本の対応、自動車の運転支援を中心とした人と機械の信頼関係の構築、と多彩な内容に渡った。	エネルギー総合工学研究所
SCM時代の製造マネジメント	伊 呂 原 隆 (上智大学) 成 松 克 己 (東 芝)	30名	10回	計画作成ツックをはじめ、様々な観点で製造マネジメントを議論する10回の会合を行った。各会合で基本的に一人の講演を依頼し、1時間講演、1時間を質疑に当て、十分な内容の理解と議論を行った。	青山学院大学
未来のインフラストラクチャー	栗 田 治 (慶應義塾大学) 高 嶋 隆 太 (東京大学)	20名	13回	未来のインフラストラクチャーに関連する問題をORの立場から整理し、モデル分析を行った。具体的にはMaglevの整備、運輸部門の評価、多様化理論の応用、交通インフラストラクチャー、インフラ整備のプロジェクトマネジメント等のモデル開発が活発に行われた。	日本GIF研究財団
価値の創造とOR	奥 原 浩 之 (大阪大学) 春 名 亮 (金沢学院大学)	18名	5回	今年度は環境、消費、公民、地方、食育などにおける問題解決のための創意や工夫を専門家に講演をしていただき、異なる分野の参加者との議論を通じて、価値の創造という観点から体系的に捉えることを目指した。	金沢大学他
サプライチェーンストラテジー	高 井 英 造 (フレームワークス) 草 刈 君 子	22名	6回	サプライチェーンにおける経営戦略、実施戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用等について、事例と理論の正面から研究する。 <a href="http://scs.blog.so-net.ne.jp/">http://scs.blog.so-net.ne.jp/</a> を参照。	青山学院大学他
食料・農業・環境とOR	南 石 晃 明 (九州大学) 佐 藤 正 衛 (農業・食品産業技術総合研究機構)	21名	6回	研究会を6回開催し、食料・農業・環境に関する諸問題について産官学民の各分野の方々と情報交換を行った。またそれらの問題解決に向けてORアプローチの有効性と課題について理論と応用の両側面から議論を深めた。	東京大学他
防衛と安全	宝 崎 隆 祐 (防衛大学校) 小 宮 享 (防衛大学校)	24名	11回	11回の研究会を開催した。研究会では防衛と安全対策に関する最新の研究状況や成果が、産・官・学からの幅広い参加者に対して報告され、その内容からOR誌の10月号特集を編集した。	政策研究大学院大学

部 会 名	主 査 事	メンバー	開催	内 容	場 所
マーケティング情報	生 田 目 崇 (専修大学) 朝 日 弓 未 (東京理科大学)	30名	6回	マーケティングの情報活用に関する研究を行った。最新の理論の紹介並びに実務的観点からのデータ活用の可能性についての研究の紹介と、データ解析コンペティションを開催し、データ分析の技術を競った。	㈱NTT データ他
若手による OR 横断研究	檀 寛 成 (関西大学) 林 俊 介 (京都大学)	21名	5回	本年度は5回の研究会を開催し、若手の研究者や実務家によって、ORの諸分野についての研究発表が行われた。また10月には本部会主催の合宿を行い、40名の参加者による活発な交流が行われた。	京 都 大 学
*政治と社会 と行政の OR	大 山 達 雄 (政策研究大学院大学) 田 中 健 一 (電気通信大学)	30名	3回	毎回2名の講師を招き、公共諸部門や社会システム全般における問題解決、意思決定、政策の策定と評価等、ORの理論と手法の幅広い応用研究に関する発表を行っていただき、参加者の中で積極的な討論を行った。	政策研究大学院大学

#### 10. 表彰 (定款第5条5号)

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第37回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ Sparse quasi-Newton updates with positive definite matrix completion  
Mathematical Programming Series A, Vol.115, No.1  
山下 信 雄 (京都大学)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞奨励賞

第4回文献賞奨励賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ Solving Linear Programs from Sign Patterns  
Mathematical Programming, Vol.114, No.2
- ・ Sign-Solvable Linear Complementarity Problems  
Linear Algebra and its Applications, Vol.429, Nos. 1-2  
垣 村 尚 徳 (東京大学)
- ・ Upper bound for the decay rate of the joint queue-length distribution in a two-node Markovian queueing system  
Queueing Systems, Vol.58, No.3  
加 藤 憲 一 (東京工業大学)
- ・ Electric Network Classifiers for Semi-Supervised Learning on Graphs  
Journal of the Operations Research Society of Japan, Vol.50, No.3  
平 井 広 志 (京都大学)

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第34回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ 古 林 隆 (法政大学)
- ・ 森 雅夫 (東京工業大学名誉教授)

- (4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞  
第 33 回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。  
株式会社 日立製作所 生産技術研究所
- (5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞  
第 29 回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。
- ・フルートの運指最適化と逆最適化を用いたパラメータチューニング  
オペレーションズ・リサーチ, Vol.53, No.1  
澤 井 賢 一 (東京大学)、黒 木 裕 介 (榊東芝)、松 井 知 己 (中央大学)
  - ・首都直下地震による鉄道利用通勤・通学客の被害想定  
オペレーションズ・リサーチ, Vol.53, No.2  
鳥 海 重 喜 (中央大学)、川 口 真 由 (全日空システム企画株)、  
田 口 東 (中央大学)
  - ・極値帰帰モデルによる自動車オークションにおける落札価格分布の分析  
平成 19 年度データ解析コンペティション  
関 庸 一、長 井 歩、阿左美尚志、川 端 聖 (群馬大学)
- (6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞  
第 10 回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。  
武 藤 滋 夫 (東京工業大学)
- (7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞  
第 26 回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。
- ・ A Landmark Algorithm for the Time-Dependent Shortest Path Problem  
大 嶋 達 也 (京都大学・修士論文)
  - ・一般化安定結婚問題に基づく研究室配属問題の数理的考察  
片 岡 達 (関西学院大学・修士論文)
  - ・ Bargaining Outcomes of Patent Licensing in Oligopoly Markets  
岸 本 信 (東京工業大学・修士論文)
  - ・ 歩行可能領域に制約のある空間における歩行モデル  
行 田 修 久 (東京工業大学・修士論文)
  - ・ Variational Inequality Approaches to Generalized Nash Equilibrium Problems  
鍋 谷 昂 一 (京都大学・修士論文)
  - ・ Exploring the relationship between the hedging strategies based on coherent risk measures and the martingale probabilities via optimization approach  
姚 偉 烽 (筑波大学・修士論文)
- (8) 日本オペレーションズ・リサーチ学会近藤賞  
第 2 回近藤賞の選考を行い、以下のとおり決定した。  
小 島 政 和 (東京工業大学)

11. 支部活動（定款第5条6項）

支部ごとに次のとおり活動した。

支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 6回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・幹事会 2回
研究会		研究会 1回	支部研究発表 会 1回	産学研究者交 流会 1回	1 研究部会	研究会 3回
講演会	講演会 2回	講演会 1回	支部講演会 2回	講演会 2回	講演会 6回	講演会 3回
講習会						
出版			支部ニュース 5回 アブストラク ト集 1回 シンポジウム 講演資料集 1回	OR誌53巻5 号特集担当  OR誌54巻5 号特集企画		
その他	チュートリア ルセミナー 1回	チェコ・ジャパ ンセミナー 2008	支部シンポジ ウム 1回 他学会協賛 2回	支部ホームペ ージの運営	支部シンポジ ウム 1回 四国ブロック シンポジウム 及び講演会 1回	最適化と数理 のORセミナー 1回

## II 処務の概要

### 1. 役員に関する事項

理事 定数：12人から18人 任期：2年  
 非常勤 (現在：17人)  
 監事 定数：2人 任期：2年  
 非常勤 (現在：2人)

平成20年度末現在

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事(会長)	伏見正則	非常勤	20. 4. 21	会務の総理	なし	南山大学教授
”(副会長)	川島幸之助	”	19. 4. 23	”	”	東京農工大学教授
”( ” )	野村淳二	”	”	”	”	パナソニック電工(株)代表取締役取締役副社長
”( ” )	田口東	”	20. 4. 21	”	”	中央大学教授
”(庶務)	矢島安敏	”	19. 4. 23	庶務	”	(株)ブレインパッド最高科学技術責任者
”( ” )	相澤りえ子	”	20. 4. 21	”	”	(株)構造計画研究所技術担当部長
”(会計)	佐賀井重雄	”	”	会計	”	(財)電力中央研究所上席研究員
”(研究普及)	久野誉人	”	19. 4. 23	研究普及	”	筑波大学准教授
”( ” )	伊倉義郎	”	20. 4. 21	”	”	(株)サイテック・ジャパン代表取締役
”(編集)	山下英明	”	19. 4. 23	機関誌編集	”	首都大学東京教授
”( ” )	藤重悟	”	20. 4. 21	論文誌編集	”	京都大学教授
”(国際)	鈴木勉	”	19. 4. 23	国際	”	筑波大学教授
”(涉外)	上田徹	”	20. 4. 21	涉外	”	成蹊大学教授
”(広報)	八巻直一	”	”	広報	”	静岡大学教授
”(無任所)	木村俊一	”	19. 4. 23	無任所	”	北海道大学教授
”( ” )	大屋隆生	”	20. 4. 21	”	”	国士舘大学教授
”( ” )	塩田光重	”	”	”	”	早稲田大学客員教授
監事	逆瀬川浩孝	”	19. 4. 23	定款19条	”	早稲田大学教授
”	山下浩	”	20. 4. 21	”	”	(株)数理システム代表取締役社長

## 2. 職員に関する事項

平成 20 年度末現在

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備 考
事務局長	常 勤	丸 山 武	2007. 7. 1	総括・渉外・会計	
職 員	〃	嶋 原 真 澄	1990. 5. 8	庶務・編集	
〃	〃	棟 安 美 恵	1998. 10. 1	会員管理・研究普及	

## 3. 会議に関する事項

### (1) 臨時総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
20. 2. 25	1. 平成 20 年度事業計画の件 2. 平成 20 年度収支予算の件	承 認 〃

### (2) 通常総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
20. 4. 21	1. 平成 19 年度事業報告の件 2. 平成 19 年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成 20 年度 21 年度役員承認の件 4. 平成 20 年度 21 年度代議員選任の件	承 認 〃 〃 〃

### (3) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
20. 5. 23	1. 平成 19 年度第 7 回理事会議事録の件 2. 平成 20 年度通常総会議事録の件 3. 入退会承認の件 4. 平成 20 年度委員会委員・幹事委嘱の件 5. 平成 20 年春季研究発表会終了及び決算報告の件 6. 第 59 回シンポジウム収支決算の件 7. 平成 20 年秋季研究発表会予算案の件 8. 第 60 回シンポジウム予算案の件 9. 研究発表会大綱改定の件 10. 研究部会表彰規定の件 11. 支部決算報告の件 12. 平成 20 年度支部運営費・事業費の件 13. 対外委員活動の件 14. 第 1 回 FMES 代表者会議議事録の件 15. 感謝状の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 報 告 承 認 〃 報 告 〃 〃
20. 7. 18	1. 平成 20 年度第 1 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 平成 20 年度委員会委員・幹事委嘱の件 4. 第 1・四半期収支報告の件 5. 第 26 回学生論文賞候補の件 6. 平成 20 年度第 1 回 OR セミナー予算案の件 7. 感謝状推薦の件 8. 支部会計取扱規則変更の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

開催年月日	議 事 事 項	結 果
20. 7. 18	9. JORSJ 掲載料見直しの件 10. 平成 20 年度支部事業費進捗状況並びに平成 21 年度事業計画の件 11. 広報委員会議事録の件 12. 第 22 回企業事例交流会の件 13. OR 事典 wiki 使用許諾契約に関する覚書締結の件 14. 待ち行列研究部会表彰規定の件	継続審議 報 告 〃 〃 〃 〃
20. 9. 26	1. 平成 20 年度第 2 回理事会議事録の件 2. 秋季支部長会議議事録の件 3. 入退会承認の件 4. 平成 20 年度委員会委員・幹事委嘱追加の件 5. 平成 20 年度上半期収支報告の件 6. 平成 21 年度秋季研究発表会開催日程の件 7. 平成 20 年度研究グループ新設申請の件 8. 近藤賞の件 9. 平成 20 年度支部事業進捗状況報告と平成 21 年度事業計画の件 10. 平成 21 年度春季研究発表会企画セッション発表募集の件 11. 中国四国支部若手による OR 横断研究部会表彰規定案の件 12. 第 2 回広報委員会議事録の件 13. IFORS2008 報告の件 14. チェコ・ジャパンセミナー実施報告の件 15. JORSJ 現状報告の件 16. 会員情報更新の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 報 告 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
20. 11. 28	1. 平成 20 年度第 3 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. JORSJ 掲載料見直しの件 4. 平成 21 年度事業計画（案）及び予算（案）提出依頼の件 5. 引当金規定改定の件 6. 平成 21・22 年度役員選挙の件 7. 第 60 回シンポジウム終了及び収支決算報告の件 8. 平成 20 年秋季研究発表会終了及び収支決算報告の件 9. 第 61 回シンポジウム予算（案）の件 10. 平成 21 年春季研究発表会予算（案）の件 11. 平成 22 年春季研究発表会開催地の件 12. 平成 20 年度第 1 回 OR セミナー収支報告の件 13. 平成 20 年度第 2 回 OR セミナー予算案の件 14. OR サロン提案の件 15. 新公益法人制度移行の件 16. 広報委員会報告の件 17. 横幹連合相互協力依頼、日本工学会フェロー推薦依頼の件	承 認 〃 継続審議 承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 報 告 〃 〃
21. 1. 23	1. 平成 20 年度第 4 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 永年会員承認の件 4. 会友推薦対象者の件 5. 名誉会員推薦の件 6. JORSJ 掲載料見直しの件 7. 第 3・四半期収支報告の件 8. 平成 21 年度事業計画及び収支予算の件 9. 支部運営費、事業費使用状況及び平成 21 年度事業計画の件 10. 平成 21 年度研究部会・グループ新設及び継続の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

開催年月日	議 事 事 項	結 果
21. 1. 23	11. SSOR 再開提案の件 12. 感謝状推薦の件	報 告 〃
21. 2. 16	1. 平成 20 年度第 5 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 会友推薦対象者追加の件 4. 学会賞授賞候補推薦の件 5. 新フェロー推薦の件 6. 平成 20 年度臨時総会議案の件 7. 感謝状推薦の件 8. OR サロン企画委員会委員委嘱等の件 9. メルマガ発行の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
21. 4. 13	1. 平成 21 年度通常総会議案の件 2. 平成 20 年度第 6 回理事会議事録の件 3. 平成 20 年度臨時総会議事録の件 4. 春季支部長会議議事録の件 5. 入退会承認の件 6. 平成 22 年春季研究発表会日程の件 7. 平成 20 年度第 2 回 OR セミナー収支報告の件 8. 平成 21 年度第 1 回 OR セミナー予算案の件 9. 研究グループ新設申請（追加）の件 10. 定款細則改定の件 11. JORSJ 投稿規程改定の件 12. 支部決算報告の件 13. FMES シンポジウムの件 14. 意思決定法研究部会表彰規定の件	承 認 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 非 承 認 承 認 〃 報 告 〃

#### (4) 支部長会議

支部長会議は 3 月（京都）と 9 月（北海道）の 2 回開催し、OR 学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を図った。

#### (5) 委員会・幹事会

##### ・常設委員会

委 員 会 名	議 事 事 項	回 数
研究普及委員会	研究発表会等の企画・開催、他	6 回
機関誌編集委員会	企画の進捗状況確認並びに新企画の提案、他	6 回
論文誌編集委員会	投稿論文査読状況の確認、他	2 回
表彰委員会	学会賞の選考・表彰規定の改定、他	4 回
広報委員会	学会 Web の充実、広報課題の検討、他	9 回
OR 事典編集委員会	OR 事典改訂方針・編集体制、他	6 回

##### ・その他の委員会・幹事会

委 員 会 名	議 事 事 項	回 数
庶務幹事会	理事会の議事についての予備審議、他	7 回
近藤賞選考委員会	近藤賞の選考	1 回
業績賞選考委員会	業績賞の選考	1 回
フェロー会議	新フェローの選考	1 回
研究部会主査会議	研究部会経過報告	1 回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

近藤賞基金の募金は1口5,000円の寄付があった。

7. 主務官庁からの連絡事項等

連絡年月日	連絡事項	履行状況
平成20年4月24日	行政と密接な関係にある公益法人の総点検に伴う調査（依頼）	平成20年4月27日回答
平成20年5月7日	平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（依頼）	平成20年6月27日回答
平成20年6月4日	公益法人新制度に関するパンフレットについて	
平成20年7月24日	新公益法人制度に関する説明会（8月25日）	
平成20年10月25日	第2回新公益法人制度に関する説明会（11月11日）	
平成20年12月5日	平成20年度特例民法法人概況調査について（依頼）	平成20年12月11日回答
平成21年1月9日	「国と密接な関係がある」特別民法法人への該当性の公表、報告等について（依頼）	
平成21年2月25日	各府省所管公益法人についての財務、特に内部留保の状況について（依頼）	平成21年3月4日回答

## 8. 会員状況

### (1) 入退会内訳

		名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員		合計	
					A種	B種		
平成20年2月末日		13	2,055	219	57(66)	24(24)	2,368(90)	
平成 20 年 度	入会		36	54	3(3)	3(3)	96(6)	
	移動	学→正		34	△34			
		正→学		△1	1			
		正→名						
	退会	△1	△122	△27	△9(△10)	△5(△5)	△164(△15)	
	除名		△31	△31			△62	
	復活		1				1	
純増減		△1	△83	△37	△6(△7)	△2(△2)	△129(△9)	
平成21年2月末日		12	1,972	182	51(59)	22(22)	2,239(81)	

( )は口数

### (2) 地域別内訳

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	
				A種	B種
本部	8	1,160	120	36(44)	21(21)
北海道		60	1	2(2)	
東北	1	65	3	1(1)	
中部		193	15	3(3)	
関西	3	278	33	7(7)	1(1)
中国・四国		118	3	1(1)	
九州		98	7	1(1)	
合計	12	1,972	182	51(59)	22(22)

( )は口数

## 収 支 計 算 書

平成20年3月1日から平成21年2月28日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用利息	14,000	14,038	△ 38	
基本財産運用収入計	14,000	14,038	△ 38	
②入会金収入				
正会員入会金収入	45,000	54,000	△ 9,000	
学生会員入会金収入	36,000	32,400	3,600	
入会金収入計	81,000	86,400	△ 5,400	
③会費収入			0	
正会員会費収入	29,116,500	28,902,400	214,100	
学生会員会費収入	1,100,000	1,135,820	△ 35,820	
賛助会員会費収入	7,708,000	7,756,000	△ 48,000	
会費収入計	37,924,500	37,794,220	130,280	
④事業収入				
会誌頒布収入	5,400,000	4,138,691	1,261,309	注2
機関誌	4,000,000	2,852,131	1,147,869	
論文誌	1,400,000	1,286,560	113,440	
研究発表会収入	5,000,000	5,078,000	△ 78,000	
シンポジウム収入	300,000	220,000	80,000	
セミナー収入	1,500,000	1,280,000	220,000	
資料等頒布収入	300,000	113,000	187,000	
IAOR収入	330,000	330,000	0	
EJOR収入	493,000	464,000	29,000	
APJOR収入	220,000	210,000	10,000	
受託研究収入	1,000,000	1,000,000	0	
事業収入計	14,543,000	12,833,691	1,709,309	
⑤その他収入				
論文投稿掲載料収入	1,125,000	1,753,640	△ 628,640	
広告収入	4,500,000	3,972,000	528,000	
事務委託収入	150,000	150,000	0	
その他収入計	5,775,000	5,875,640	△ 100,640	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
⑥寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	5,000	2,995,000	注1
寄付金収入計	3,000,000	5,000	2,995,000	
⑦雑収入				
受取利息収入	200,000	291,953	△ 91,953	
雑収入	200,000	260,006	△ 60,006	
雑収入計	400,000	551,959	△ 151,959	
事業活動収入計	61,737,500	57,160,948	4,576,552	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給料手当支出	7,900,000	7,901,833	△ 1,833	
臨時雇賃金支出	1,480,000	1,292,000	188,000	
旅費交通費支出	500,000	612,150	△ 112,150	
通信運搬費支出	5,800,000	4,813,813	986,187	
消耗品費支出	400,000	294,344	105,656	
会議費支出	300,000	146,948	153,052	
印刷製本費支出	12,150,000	10,056,543	2,093,457	
機関誌	9,500,000	8,201,697	1,298,303	注2
論文誌	2,500,000	1,854,846	645,154	注2
印刷費	150,000	0	150,000	
研究発表会支出	5,000,000	3,922,080	1,077,920	
開催費	3,620,000	2,834,595	785,405	
印刷費	1,380,000	1,087,485	292,515	
国際協力費支出	1,502,000	1,106,070	395,930	
IFORS会費	370,000	290,742	79,258	
IAOR購入費	350,000	195,355	154,645	
EJOR購入費	482,000	454,100	27,900	
APJOR購入費	200,000	165,873	34,127	
APORS関係費	100,000	0	100,000	
研究活動費支出	2,175,000	924,623	1,250,377	
シンポジウム開催費	300,000	264,293	35,707	
セミナー開催費	1,275,000	660,330	614,670	
OR企業フォーラム	600,000	0	600,000	注3
研究部会費支出	990,000	906,446	83,554	
支部運営費支出	1,589,100	1,492,198	96,902	
支部事業費支出	599,444	591,904	7,540	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
表彰事業費支出	650,000	556,464	93,536	
諸謝金支出	1,600,000	956,500	643,500	
受託研究費支出	1,000,000	1,000,000	0	
FMES関係費支出	500,000	459,853	40,147	
名簿作成費支出	400,000	342,411	57,589	
近藤賞関係支出	1,050,000	0	1,050,000	注1
事業費支出計	45,585,544	37,376,180	8,209,364	
②管理費支出				
給料手当支出	7,900,000	7,901,832	△ 1,832	
福利厚生費支出	2,300,000	2,216,407	83,593	
会議費支出	400,000	199,185	200,815	
旅費交通費支出	1,700,000	1,232,540	467,460	
通信費支出	950,000	467,786	482,214	
事務用消耗品費支出	50,000	45,605	4,395	
消耗品費支出	200,000	136,383	63,617	
修繕費支出	50,000	0	50,000	
印刷費支出	600,000	173,880	426,120	
家賃支出	3,750,384	3,750,384	0	
共益費支出	1,625,400	1,625,400	0	
保険料	10,000	10,000	0	
支払手数料支出	270,000	207,285	62,715	
租税公課支出	80,000	317,600	△ 237,600	注4
負担金支出	50,000	3,500	46,500	
リース料支出	500,000	391,104	108,896	
OA化準備費支出	200,000	0	200,000	
消費税仮払金	500,000	0	500,000	注4
損金支出	700,000	598,630	101,370	
雑費支出	930,000	68,961	861,039	注5
管理費支出計	22,765,784	19,346,482	3,419,302	
事業活動支出計	68,351,328	56,722,662	11,628,666	
事業活動収支差額	△ 6,613,828	438,286	△ 7,052,114	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入				
国際協力積立金資産取崩収入	100,000	0	100,000	
国際会議積立金資産取崩収入	0	1,119,890	△ 1,119,890	注6
財政調整積立金資産取崩収入	8,699,828	0	8,699,828	注6
名簿作成準備積立金資産取崩収入	400,000	400,000	0	
50周年記念事業積立金資産取崩収入	0	5,000,000	△ 5,000,000	注6
特別研究積立金資産取崩収入	400,000	0	400,000	
表彰事業積立金資産取崩収入	100,000	100,000	0	
近藤賞基金引当資産取崩収入	1,050,000	0	1,050,000	注1
特定資産取崩収入計	10,749,828	6,619,890	4,129,938	
投資活動収入計	10,749,828	6,619,890	4,129,938	
2. 投資活動支出				
①特定資産支出				
財政調整積立金資産支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	注6
国際協力積立金支出	0	1,119,890	△ 1,119,890	注6
退職給付引当資産支出	1,136,000	1,136,000	0	
近藤賞基金引当資産支出	3,000,000	57,373	2,942,627	注1
特定資産支出計	4,136,000	7,313,263	△ 3,177,263	
投資活動支出計	4,136,000	7,313,263	△ 3,177,263	
投資活動収支差額	6,613,828	△ 693,373	7,307,201	
III. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	△ 255,087	255,087	
前期繰越収支差額	5,153,220	12,534,286	△ 7,381,066	
次期繰越収支差額	5,153,220	12,279,199	△ 7,125,979	

注：当事業年度の収支予算書については、これを組み替えて記載してある

## 収支計算書に対する注記

1 資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、前払金、仮払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金	247,477	475,551
預 金（振替貯金を含む）	37,748,817	38,081,186
未 収 会 費	1,625,620	1,248,120
そ の 他 の 未 収 金	246,874	187,089
前 払 金	34,049	85,284
仮 払 金 他	42,580	0
合 計	39,945,417	40,077,230
未 払 金	1,822,823	2,315,205
前 受 会 費	23,362,920	22,692,432
そ の 他 の 前 受 金	1,948,915	2,395,351
預 り 金	260,573	395,043
仮 受 金	15,900	0
合 計	27,411,131	27,798,031
次 期 繰 越 収 支 差 額	12,534,286	12,279,199

3 予算額と決算額の差異が著しい科目とその理由

注1 近藤賞基金の募集は今期見込みより、実績は3百万円少なかった。特定資産への支出は、寄付金と基金の受取利息とであるが、募金見込み差額とほぼ同額減少した。

近藤賞は授与式が翌会計年度に実施となったため、関係支出は発生していない。

注2 会誌頒布収入と印刷製本費支出との差額は、支出が6.6百万円多い計画であった。

実績では、支出が5.9百万円多かったが、その差額は約70万円の縮小となった。

注3 企業フォーラムについては、その見直しが行われた結果当期の支出は発生していない。

注4 消費税仮払金は、租税公課に含めている。

注5 公益法人化に伴う税務顧問等の契約は、見直しを行い翌年度以降の契約とした。

注6 特定資産勘定の一部見直しを行った。

国際会議積立金資産は、国際協力積立金へ統合した。50周年記念事業積立金資産は、その事業も完了したのでこれを廃止して残額を財政調整積立金資産へ振替えた。

## 貸借対照表

平成21年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	38,556,737	37,996,294	560,443
現金	475,551	247,477	228,074
振替貯金	4,374,895	12,028,455	△ 7,653,560
当座預金	25,586	25,586	0
普通預金	33,181,374	25,195,445	7,985,929
定期預金	499,331	499,331	0
未収金	1,435,209	1,872,494	△ 437,285
未収会費	1,248,120	1,625,620	△ 377,500
その他の未収金	187,089	246,874	△ 59,785
前払金	85,284	34,049	51,235
仮払金他	0	42,580	△ 42,580
流動資産合計	40,077,230	39,945,417	131,813
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当資産	8,243,000	7,107,000	1,136,000
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	3,621,640	0
名簿作成準備積立金資産	400,000	800,000	△ 400,000
国際協力積立金資産	7,119,890	6,000,000	1,119,890
記念事業積立金資産	11,143,931	11,143,931	0
表彰事業積立金資産	4,600,000	4,700,000	△ 100,000
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
50周年事業積立金資産	0	5,000,000	△ 5,000,000
国際会議積立金資産	0	1,119,890	△ 1,119,890
OR事典積立金資産	1,800,000	1,800,000	0
財政調整積立金資産	9,253,225	4,253,225	5,000,000
特別研究積立金資産	5,000,000	5,000,000	0
近藤賞基金引当金資産	14,025,517	13,968,144	57,373
特定資産合計	73,587,203	72,893,830	693,373

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(3) その他固定資産			
什器備品	116,985	172,780	△ 55,795
ソフトウェア	198,107	268,027	△ 69,920
敷金・保証金	1,596,000	1,596,000	0
その他固定資産合計	1,911,092	2,036,807	△ 125,715
固定資産合計	80,498,295	79,930,637	567,658
資産合計	120,575,525	119,876,054	699,471
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,315,205	1,822,823	492,382
前受金	25,087,783	25,311,835	△ 224,052
前受会費	22,692,432	23,362,920	△ 670,488
その他の前受金	2,395,351	1,948,915	446,436
預り金	395,043	260,573	134,470
仮受金	0	15,900	△ 15,900
流動負債合計	27,798,031	27,411,131	386,900
2. 固定負債			
退職給与引当金	8,243,000	7,107,000	1,136,000
固定負債合計	8,243,000	7,107,000	1,136,000
負債合計	36,041,031	34,518,131	1,522,900
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	79,534,494	80,357,923	△ 823,429
(うち特定資産への充当額)	(73,587,203)	(72,893,830)	693,373
正味財産合計	84,534,494	85,357,923	△ 823,429
負債及び正味財産合計	120,575,525	119,876,054	699,471

## 正味財産増減計算書

平成20年3月1日から平成21年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収益			
基本財産受取利息	14,038	14,000	38
② 受取入会金			
正会員入会金	54,000	75,000	△ 21,000
学生会員入会金	32,400	40,800	△ 8,400
③ 受取会費			
正会員会費	28,902,400	29,684,000	△ 781,600
学生会員会費	1,135,820	1,320,000	△ 184,180
賛助会員会費	7,756,000	7,898,000	△ 142,000
④ 事業収益			
会誌頒布収益	4,138,691	4,485,593	△ 346,902
研究発表会収益	5,078,000	4,275,000	803,000
シンポジウム収益	220,000	155,000	65,000
セミナー収益	1,280,000	1,080,000	200,000
資料等頒布収益	113,000	141,300	△ 28,300
IAOR収益	330,000	315,000	15,000
EJOR収益	464,000	527,000	△ 63,000
APJOR収益	210,000	210,000	0
受託研究費収益	1,000,000	1,000,000	0
50周年記念事業収益	0	746,881	△ 746,881
⑤ その他収益			
論文投稿掲載料	1,753,640	1,509,000	244,640
広告料	3,972,000	4,344,000	△ 372,000
事務委託収益	150,000	150,000	0
その他	0	9,500	△ 9,500
⑥ 受取寄付金			
受取一般寄付金	5,000	9,195,000	△ 9,190,000
⑦ 雑収益			
受取利息	291,953	257,455	34,498
雑収益	260,006	200,216	59,790
⑧ 引当金戻入			
引当金戻入	0	216,000	△ 216,000
経常収益計	57,160,948	67,848,745	△ 10,687,797

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	7,901,833	7,911,391	△ 9,558
臨時雇賃金	1,292,000	1,322,000	△ 30,000
旅費交通費	612,150	428,340	183,810
通信運搬費	4,813,813	5,093,050	△ 279,237
減価償却費	125,715	125,715	0
消耗品費	294,344	392,520	△ 98,176
会議費	146,948	138,138	8,810
印刷製本費	10,056,543	11,327,977	△ 1,271,434
研究発表会	3,922,080	3,161,634	760,446
IFORS会費	290,742	359,623	△ 68,881
IAOR購入費	195,355	275,967	△ 80,612
EJOR購入費	454,100	432,000	22,100
APJOR購入費	165,873	166,642	△ 769
APORS関係費	0	82,754	△ 82,754
シンポジウム開催費	264,293	325,500	△ 61,207
セミナー開催費	660,330	1,448,049	△ 787,719
OR企業フォーラム	0	209,834	△ 209,834
研究部会費	906,446	909,794	△ 3,348
支部運営費	1,492,198	1,549,348	△ 57,150
支部事業費	591,904	537,926	53,978
表彰事業費	556,464	1,451,543	△ 895,079
諸謝金	956,500	1,463,536	△ 507,036
名簿作成費	342,411	0	342,411
受託研究費	1,000,000	1,000,000	0
FMES関係費	459,853	463,971	△ 4,118
50周年記念事業費	0	6,259,876	△ 6,259,876
近藤賞関係費	0	2,060,290	△ 2,060,290
② 管理費			
給料手当	7,901,832	7,911,391	△ 9,559
退職給付	0	162,000	△ 162,000
福利厚生費	2,216,407	2,189,473	26,934
会議費	199,185	272,210	△ 73,025
旅費交通費	1,232,540	921,460	311,080
通信費	467,786	771,106	△ 303,320
事務用消耗品費	45,605	20,204	25,401
消耗品費	136,383	412,151	△ 275,768
修繕費	0	71,400	△ 71,400
印刷費	173,880	150,019	23,861
家賃	3,750,384	3,750,384	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
共益費	1,625,400	1,625,400	0
保険料	10,000	10,000	0
支払手数料	207,285	258,910	△ 51,625
租税公課	317,600	325,800	△ 8,200
負担金	3,500	3,500	0
リース料	391,104	420,504	△ 29,400
OA化準備費	0	38,764	△ 38,764
損金	598,630	536,087	62,543
雑費	68,961	544,757	△ 475,796
③ 引当金繰入			
退職給与引当金繰入	1,136,000	1,106,400	29,600
経常費用計	57,984,377	70,399,338	△ 12,414,961
当期経常増減額	△ 823,429	△ 2,550,593	1,727,164
当期一般正味財産増減額	△ 823,429	△ 2,550,593	1,727,164
一般正味財産期首残高	80,357,923	82,908,516	△ 2,550,593
一般正味財産期末残高	79,534,494	80,357,923	△ 823,429
II. 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III. 正味財産期末残高	84,534,494	85,357,923	△ 823,429

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産は定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

退職給与引当金

職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（自己都合ベース）で計上しています。

(3) リース取引の処理方法

所有権の移転しないファイナンスリースであり、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 会計方針の変更

平成19年度から新会計基準へ変更している。

3 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,107,000	1,136,000	0	8,243,000
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	0	0	3,621,640
名簿作成準備積立金資産	800,000	0	400,000	400,000
国際協力積立金資産	6,000,000	1,119,890	0	7,119,890
記念事業積立金資産	11,143,931	0	0	11,143,931
表彰事業積立金資産	4,700,000	0	100,000	4,600,000
OA化積立金資産	8,380,000	0	0	8,380,000
50周年事業積立金資産	5,000,000	0	5,000,000	0
国際会議積立金資産	1,119,890	0	1,119,890	0
OR事典積立金資産	1,800,000	0	0	1,800,000
財政調整積立金資産	4,253,225	5,000,000	0	9,253,225
特別研究積立金資産	5,000,000	0	0	5,000,000
近藤賞基金引当金資産	13,968,144	57,373	0	14,025,517
小 計	72,893,830	7,313,263	6,619,890	73,587,203
合 計	77,893,830	7,313,263	6,619,890	78,587,203

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	5,000,000	(5,000,000)	0	0
小 計	5,000,000	(5,000,000)	0	
特定資産				
退職給付引当資産	8,243,000	0	(8,243,000)	(8,243,000)
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	0	(3,621,640)	0
名簿作成準備積立金資産	400,000	0	(400,000)	0
国際協力積立金資産	7,119,890	0	(7,119,890)	0
記念事業積立金資産	11,143,931	0	(11,143,931)	0
表彰事業積立金資産	4,600,000	0	(4,600,000)	0
OA化積立金資産	8,380,000	0	(8,380,000)	0
OR事典積立金資産	1,800,000	0	(1,800,000)	0
財政調整積立金資産	9,253,225	0	(9,253,225)	0
特別研究積立金資産	5,000,000	0	(5,000,000)	0
近藤賞基金引当金資産	14,025,517	0	(14,025,517)	0
小 計	73,587,203	0	(73,587,203)	(8,243,000)
合 計	78,587,203	(5,000,000)	(73,587,203)	(8,243,000)

5 担保に供している資産はありません。

6 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
(有形固定資産)			
什器備品	273,180	156,195	116,985
(無形固定資産)			
ソフトウェア	349,600	151,493	198,107
合 計	622,780	307,688	315,092

7 受保証・保証債務はありません。

8 関連当事者との取引について、該当事項はありません。

# 財 産 目 録

平成21年 2月28日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許保有高	475,551	
振替貯金		
東京振替貯金局	884,825	
根津振替貯金	102,810	
根津振替貯金 2	3,387,260	
当座預金		
みずほ銀行 根津支店	25,586	
普通預金		
みずほ銀行 根津支店	24,525,576	
三井住友銀行 白山支店	2,212,534	
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	6,443,264	
定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	499,331	
未収金		
20年度会費他	1,435,209	
前払金		
機関誌抜刷代他	85,284	
流動資産合計		40,077,230
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 みずほ銀行 根津支店	5,000,000	
基本財産合計	5,000,000	
(2) 特定資産		
退職給与引当資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	8,243,000	
敷金等移転準備積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	3,621,640	
名簿作成準備積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	400,000	
国際協力積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	7,119,890	
記念事業積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	11,143,931	
表彰事業積立金資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	4,600,000	
OA化積立金資産 定期預金		
三井住友銀行 白山支店	8,380,000	

科 目	金	額
OR事典積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	1,800,000	
財政調整積立金資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	4,253,225	
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	5,000,000	
特別研究積立金資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	5,000,000	
近藤賞基金引当金資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	14,025,517	
特定資産合計	73,587,203	
(3) その他固定資産		
有形固定資産 什器備品	116,985	
無形固定資産 ソフトウェア	198,107	
その他の固定資産 敷金・保証金	1,596,000	
その他固定資産合計	1,911,092	
固定資産合計		80,498,295
資産合計		120,575,525
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 OR誌2月号印刷代他	2,315,205	
前受金 21年度会費他	25,087,783	
預り金 職員社会保険料他	395,043	
流動負債合計		27,798,031
2. 固定負債		
退職給与引当金	8,243,000	
固定負債合計		8,243,000
負債合計		36,041,031
正味財産		84,534,494

平成 21 年度 22 年度役員候補者名簿

会務役職	定 数	候 補 者	備 考 (非改選役員)
会 長	1 (0)		伏 見 正 則
副 会 長	3 (2)	武 藤 滋 夫	田 口 東
”		山 下 勝 比 弘	
庶 務	2 (1)	渡 辺 隆 裕	相 澤 り え 子
国 際	1 (1)	村 松 正 和	
研究普及	2 (1)	大 澤 義 明	伊 倉 義 郎
編 集	2 (1)	牧 本 直 樹	藤 重 悟
会 計	1 (0)		佐 賀 井 重 雄
渉 外	1 (0)		上 田 徹
広 報	1 (0)		八 卷 直 一
支 部	1 (1)	加 藤 直 樹	
無 任 所	3 (1)	古 藤 浩	大 屋 隆 生
			塩 田 光 重
監 事	2 (1)	紀 一 誠	山 下 浩

( ) 内は平成 21 年度改選数